

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：初等中等教育における海洋教育の意義と課題  
－海洋立国を担う若手の育成に向けて－
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
  - ・協力：学術会議海洋生物学分科会
  - ・後援：日本学術会議水産学分科会、同動物科学分科会、同 SCOR（海洋研究科学委員会）分科会、日本水産学会、日本船舶海洋工学会、日本動物学会、日本植物学会、日本藻類学会、（独）海洋研究開発機構、海洋政策研究財団、日本財団、日本動物園水族館協会
- 3 開催日時：平成 26 年 8 月 1 日（金） 13 時～17 時 30 分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

2013 年の海洋基本計画では、海洋教育の推進がうたわれているが、現状では、必ずしも多くの国民が、海に親しみ、海を理解しているとはいえない。「海とともに生きる」若者を育てることは、将来の日本の在り方を決定する必須の課題である。この課題の解決には、海洋研究の充実が急務であるが、その一方で、初等中等教育における海洋教育の整備と強化が必要である。本フォーラムは、海洋の教育・研究の最前線の現場にある研究者を演者とし、参加者としては初等中等教育の現場や学術研究の現場並びに産業界を想定している。参加者とともに海洋教育の議論を進め、日本の未来を拓く海洋教育の重要性を共有する。
- 6 参加人数：123 名  
講演者等：16 名  
その他の参加者：107 名
- 7 特記事項：

参加者は、小中高校教員、大学教職員、海事産業、社会教育施設など多岐にわたった。また、自然科学・社会科学から産業まで、海に関わるほぼすべての分野からの参加であった。このことは、海洋教育を考える学際的な集会の第一回としての関心の高さをうかがわせるものであった。また、開催後に海洋教育推進の新聞記事が掲載されている。アンケートでは、90%以上が良かったと回答し、98%が次の参加を希望され、本フォーラム開催が高い評価をいただいたといえる。